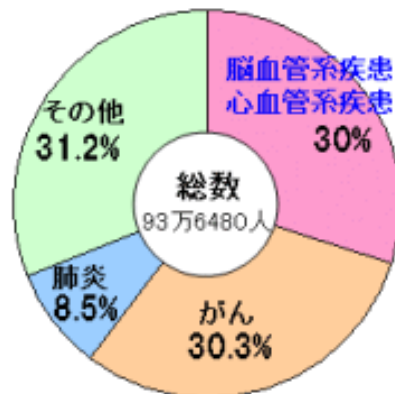


ABI 検査について ～脚の血管大丈夫ですか？～

日本の3大死因は、「がん」「脳血管疾患」「心疾患」です。なかでも、脳血管疾患と心疾患はいずれも、血管の壁が厚くなって弾力性が失われ、血管が劣化したり狭くなってしまいう「動脈硬化」が原因です。動脈硬化とは、高血圧や高脂血症などにより動脈壁に粥状物質が蓄積する状態です。これが進むと、動脈の壁が厚く内径が狭くなり、血液の流れが悪くなったり、血流が止まったりします。動脈硬化は徐々に進行しますが、ある時までは全く症状が出ません。その点を過ぎると、多くの場合突然に狭心症・心筋梗塞・脳梗塞・下肢の壊死などが起こります。このような理由で早期発見が大切です。



～増加する閉塞性動脈硬化症～

近年食生活の欧米化や運動不足、高齢化に伴い閉塞性動脈硬化症の患者さんが増加しています。また糖尿病、高血圧、ヘビースモーカーの方は虚血性心疾患、脳動脈硬化症を合併しやすいことが知られています。これらの患者さんの中には、手足のしびれ、冷感、跛行（足を引きずる）などの症状を訴えられることが少なくありません。このような場合は、下肢の動脈硬化などによる血管の狭窄または閉塞があり末梢血管の循環障害が起こっている可能性を疑います。

閉塞性動脈硬化症とは、どんな病気？

四肢の血管の動脈硬化によって起こる病気です。動脈硬化が進むことで四肢の動脈が閉塞して血液の流れが悪くなり、足先がしびれたり、冷たく感じたり、歩くのが困難になったりする等の症状が現れます。放っておくとやがて血流がなくなって足が壊死に陥り、切断という最悪の事態にいたってしまうこともあります！！

【検査の対象となる人】

高血圧、糖尿病、高脂血症、虚血性心疾患、脳梗塞、閉塞性動脈硬化症の方

【ライフスタイル】

喫煙、運動不足、肥満、不規則な食生活の方

【動脈硬化が疑われる検査結果】

総コレステロール	220mg/dl以上	HDLコレステロール	40mg/dl以下
中性脂肪(TG)	150mg/dl以上	LDLコレステロール	220mg/dl以上

動脈硬化に不安のある方はぜひ検査をしましょう！

「歩いていると足が痛くなって休むようになった」「足先が冷たくしびれるようになった」・・・こんな症状に心当たりはありませんか？加齢による衰えと、見過ごしたり諦めたりしてはいけません。動脈硬化の疾患「閉塞性動脈硬化症」の初期症状である可能性があります。